

# 石川県くらしと環境を考える会環境行動計画

平成20年3月29日

## 環 境 へ の 取 組 方 針

石川県くらしと環境を考える会は、地球規模の環境問題と地域の環境問題に関する共通認識をつくり、地域独自の環境保全活動を継続的に推進し行動していきます。

暮らしの視点に立ち先人の生活の知恵や工夫に学びつつ、新しい情報を取り入れ、将来世代に安心して暮らせる地球と地域を引き継ぐ大人の責任を果たすため努力していきます。

そのために、次の項目と具体的取り組みを会員が認識を持ち、評価を共有していくことに努めます。

- ① 温暖化防止に向けたエネルギー使用削減の取り組み
- ② 環境保全のための仕組みを充実するための組織運営の効率化と評価
- ③ 事業活動に伴って発生する環境負荷の削減（紙）

平成 20 年 3 月 2 9 日

石川県くらしと環境を考える会  
会長 千 原 好 美

## 4 環境保全の取組目標と具体的な取組

会の事業活動を実施するに当たって、「地域の環境保全・環境教育の取組」、「環境保全のための仕組み作り」、及び「適切な資源利用の取組」について平成21年度までの取組目標を設定し、これを達成するための具体的な取組を会員みんなで進めます。

### 4-1 地域の環境保全・環境教育の取り組み

目標：グリーンカーテン作りによる省エネの啓発と効果の普及を目的として、  
会員及び会員の働きかけによるグリーンカーテンを50件設けます。

取組・定例会で会員にグリーンカーテン作りを説明し、会員宅でのグリーンカーテン作りを進めます。

- ・環境フェアでグリーンカーテンを展示します。
- ・会員が、地域の人にグリーンカーテン作りを勧めます。
- ・取り組み結果を二酸化炭素削減量に換算し、ホームページで公表します。

目標：冬場の鍋料理の推進による省エネの啓発と効果の普及を目的として、  
会員及び会員の働きかけによる鍋料理を800回実施します。

取組・会員宅で実施する鍋料理を700回にします。

- ・県民エコステーションの環境サロンで鍋料理を普及します。
- ・会員が地域の人に鍋料理を勧めます。
- ・取り組み結果を二酸化炭素削減量に換算し、ホームページで公表します。

### 4-2 環境保全のための仕組み作り

目標：環境保全活動のための仕組み（PDCAサイクル）を構築する。

取組・「いしかわ事業者版環境ISO」担当を置き、PDCAサイクルによる取り組みの進行管理をします。

- ・4月の総会において、会員に対し、環境方針及び目標・取り組みを周知徹底します。
- ・取り組みの評価が可能な体制（例えばチェック表の作成を含む）を作ります。
- ・3月に、会長を中心とした取り組みの点検評価、見直しを行います。

目標：会員の力量及び専門性向上のため、環境関連の講演会・研修参加者を延べ450人にする。

聴講のみのももの435人、受講終了（修了）証等が交付されるもの15人

取組：会員に当会の研修会はもとより、他団体が主催する研修会など計画的に参加を促す。

### 4-3 適切な資源利用の取組

目標：環境負荷の軽減のために、定例会、理事会、総会等の資料作成に要する紙使用量を20%削減する。

- 取組：・電子メールの活用
- ・両面コピーと裏紙利用を徹底する
  - ・紙の縮小化

- ・封筒の再利用の呼びかけ（封筒添付）
- ・会議用資料などの情報の集約化を徹底する（1枚の行数を増やすなど）

## 5 実施体制

石川県くらしと環境を考える会では、この環境行動計画の作成・実施方針に基づいて担当を定め、各委員会活動内容を定期的にチェックしていく体制をつくります。

（「環境保全の取組目標と具体的な取組」の4-2に記載）